

第4期四谷地区協議会会議録

分科会名	役員会	開催回	第8回
開催日	平成24年3月13日(火) 四谷特別出張所会議室		
出席者	区民	役員7名	職員 4名
主な協議のテーマ	「内藤とうがらし」を通じた交流について		
	1, 会議冒頭伊那市観光協会来会		
	2, 各分科会報告・連絡について		
会議内容と主な意見	3, 連絡会等の報告		
	<p>※会議冒頭伊那市観光協会理事・伊那市(新宿区派遣)職員来会</p> <p>○「内藤とうがらし」を通じた交流について(意見交換)</p> <p>【伊那市高遠での内藤とうがらし取組計画の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「内藤とうがらし」の復活・普及についてNPOスローフード江戸東京より話をうかがい知った。 ・伊那市では官民協働で「高遠そば」の復活を目指す活動もしている。 ・現在種を入手し、農家で育苗している。この夏に育成して伊那の観光資源のひとつとして「高遠そば」同様活用したい。見た目もきれいなので風物詩となるようにしたい。 ・江戸時代の書物(高遠領産物帳)にもお茶、梨、いもと並び「とうがらし」の記載があるように、昔はかなり収穫があった。 ・とうがらしは他種のとうがらしと混合しやすいので品種の固定化がむずかしいが、専門農家が特別に種の収穫用とうがらしも育成する予定。 ・伊那市では四谷地区協議会の募集要項を参考に5月20日公募形式で地域住民に向けて募集開始予定である。(土とプランター付 3苗600円で原価販売) ・具体的な活動は現在白紙状況であるが、江戸時代より縁ある地域(四谷)で、すでに復活を目指している「内藤とうがらし」を交流の題材のひとつとさせていただきたいのでよろしくお願いします。 <p>【主な質疑応答】</p> <p>協議会質問：苗の育成にはいくらぐらいかかるのですか？ 伊那市解答：1苗100円をお願いしている。(協議会が現在育苗依頼代金と同じ)</p> <p>協議会質問：四谷とのコラボレーションをどうイメージされているのですか？ 伊那市解答：例えば内藤新宿300年祭に新宿区の廃校になった小学校に泊まりながらイベントを開いたような経験もある。互いの活動のプラスになるような協力ができたらよいと思っている。</p> <p>質問者意見：ビジネスではなく、交流を目的として双方で時間をかけて考えていきたいと思う。</p>		

	<p>協議会意見① 本活動は四谷の課題解決まち美化活動の一つとして取り組んでいる。食べることを前提に育成しているのではなく「花いっぱい運動」の活動に連携した活動である。地域で年2回、共通の植物を植えこむ花の端境期に緑と赤のコントラストがきれいになるとうがらしを加えたという経緯もある。</p> <p>「内藤とうがらし」の苗の配布後のプラスα（付随して出てきた活動）は自由にしている。地区協議会は活動のきっかけを作ればよいと思う。今後も重量オーバーにならないよう気を付けて活動を推進したい。</p> <p>【本会合での結論】</p> <p>※協議会活動に大きな負担がないよう留意しながら、今後情報の共有化も含め、互いが協力できることを提案できるよう考えていくこととした。</p> <p>1 各分科会報告・連絡について</p> <p>第1分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1分科会テーマ別意見交換について 都市マスタープランに基づくまちの魅力づくりについて考えることを進めている。四谷駅前まちづくり協議会の情報を共有し、第一分科会としてまちづくりのソフト面について意見を出していきたい。 来年度は「まちづくり」に関する活動に力を入れていきたいと考えている。 ・玉川上水分水散歩道の完成レセプション出席について（報告） 第一分科会より3名出席。テープカットの様子はMXテレビで報道された。 <p>四谷お宝さがし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四谷お宝さがし発表会について 3月17日（土） 1時から開催 区長来会予定。 5周年特別講演として東武博物館名誉館長に都電の思い出話をうかがう。 来年度中に5周年記念の目録をカラー版で発行予定。 <p>第2分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流の場づくり活動について みなみもとまち公園にできるビオトープを多世代交流の1拠点として活用する。 ① ビオトープの愛称を募集し関心を持っていただく。 愛称の最終審査を町会連合会に依頼（すでに承諾を得ている） ② オープニングイベントを開催予定 ③ 冒険遊びの会等と協働して活動を計画していく。 ・放置自転車に関する花園小学校での活動について（報告） 別紙に社会福祉協議会の報告書が提示された。今後も子どもたちと地域住民で協力し、障がいを持つ方に優しいまちづくりを一緒に考えていきたい。 ・コミュニティガバナンス研究会での事例発表について（経過説明と資料案説明） 会長あての事例報告協力の依頼を受け、第2分科会で推進する高齢者向け筋力向上体操を事例発表することを検討している。高齢者見守りがテーマの研究ではあるが、接点があるので、事例として紹介をしたいと考える。役員会でご承認いただきたい。 →承認
--	--

<p>第3分科会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の活動案について 「内藤とうがらし」の活動は予てより3年間を目途に計画してきた。 来年度は3年目にあたる。今年度とほぼ同じ内容で活動を予定している。 苗の配布（1苗100円）は5月中旬（5月13日に決定） 「種」については東日本大震災復興支援に協力し、社会福祉協議会の義援金に募金していただいた方に御礼として配布する。 ・新宿区路上喫煙対策協力員の協議会推薦について <u>四谷の地区協議会よりの推薦条件案</u> <ol style="list-style-type: none"> ① 第三分科会の推進する530デーの一斉清掃で活動すること。 ② 個人的な単独活動を行わず必ず協議会として活動する。 ③ 区より貸与されるベスト等は事務局で保管することとし、第三分科会リーダーの判断により着用する。 <p>以上の事に同意し推薦希望を申し出る委員について役員会で確認後出張所より区に推薦書を提出予定とする。</p>
<p>観光まちづくり実行委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩き手帖の編集経過について 本年度一年かけて歩いたポイントを整理して、「四谷まち歩き手帖」の上下巻を編集している。（各1000冊発行予定） 1項目100文字として24か所掲載する。 細かな説明ができないところはまち歩きヒントとしてキーワードを掲載する。 本年度内に上巻、次年度に下巻を発刊する予定。 各自が余白欄に自分の発見を書き込みマイテキストにできるように工夫している。 <p>配布は従来の一方向的な方法ではなく、観光まちづくり実行委員会主催のまち歩きに同行する方、観光ガイドに関心を持ってくださる方に利用していただけるよう限定し、次のアクションにつなげていただきたい。その他、新年度全体会の席で配布他、町会連合会でも配布予定。</p>
<p>広報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「声」第6号について（進捗状況） 別紙に掲載内容一覧が配布され説明があった。
<p>課題別PT</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の「危険」を学ぶ勉強会報告 申込者は10組あったが、当日諸事情で3組の参加となった。参加者が少なく残念だったが、アットホームな環境で質疑応答ができていた。 内容は、乳幼児の危険、避難所について等、実生活で役に立つ内容となっていたので多くの人に聞いていただきたかった。次回は募集の工夫をしたいと考える。

2 川口市との交流について振り返り（意見交換）

- 意見) 先方のスタンスが見えなかった。目的とされている焦点が見えづらかった。
- 意見) 川口市では先に自治基本条例が制定され、それに対してどのようなアクションを起こせばよいか検討されている段階で、新宿区とは状況が違いすぎる。
- 意見) 最近は取材も増えてきたが先方の思いや書きたい内容が迷惑なこともある。特に地区協議会は地元根ざした活動であり、広く有名になるより（当方の）活動広報としても利用をさせて欲しいと条件に出すぐらいにしたいと思う。
- 意見) 川口市の思いでは、新宿区が先だって地域で協議する場を作っているという予想があったであろうが現状は、なかなか理想のようにいかない。協議会も縦割り構造の実情もある。お役に立てたのか疑問として残る。
- 意見) 自分たちを整理する上では、今回の発表はよかったが、今後は事前に先方の申し出を吟味し対応しないと、時間と労力もかかることなので本来の活動が疲弊しないよう気を付けたい。

3 次年度のまちづくり活動支援助成金の予算案について（意見交換）

別紙予算案参照

事務局説明

- 各会の要望をできるかぎり反映させたが、来年度は助成金を利用する提案が多くすべての提案どおり予算計上は困難であった。
現段階で活動提案が未定の課題別PTなど、不測の出費に対応できるように200万円全額を請求するのではなく、10万円弱を未請求とする提案をご理解いただきたい。未請求額は協議会全体でシェアして必要に応じて討議して請求していくことが妥当だと考えます。⇒承認
- 年度当初よりすぐに活動する体操講座等では年度内(3月中)に助成金審査会の審議にかけないと実情に合わない。最終的には全体会で承認いただくことではあるが、本日の役員会でご承認いただきたいと考える。⇒承認

意見) 予算について余裕がないことは理解できる。各会で工夫して活動し、不足分は人的パワーで補える様に努力したいと考える。

4、各会報告

4 各会報告・・・(代表委員より)

・地区協議会連絡会について（報告）

協議会が各地区の事情、思いでそれぞれ意見が食い違ってきた。

四谷では当初より皆が意識して町会との連携を考えて活動してきたので安定した活動を行える。

連絡会で地域安全の一番のテーマである防災について考えた時、地元の消防団の動き警察、消防等の避難所の役割等が混在した中、地区協議会が何をすべきか意見集約に到達できなかった。地区協議会が本来何をすべきか予算消化だけでは見えてこないと感じた。

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例関係 3月10日土曜日 文化センター小ホールでシンポジウム開催（参加報告） 住民による地域自治と一言で言っても、つまりは自分達がなんとかしていかないと いけないのではないかと感じた。 識者からは、地域自治組織のあり方の結論でなく、逆に(新宿内の)地域組織の統一 化はいらぬのではないかとという意見があった。 (ハンドブックは3月末、配布予定) 5 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会広報タブロイド判（新宿区作成）について 配布誌の確認 意見) 業者取材内容については全所でほとんど手直した。 業者の取材では自分たちの思いが伝わらないのは他地区も同様であった。 今後、新宿区でも業者委託に関する見直しを検討すべきかと感じた。 ・わくわくマップの増刷について 意見) 横丁の位置も坂と同様、記載した方がわかりやすい。 人物紹介には生没年を西暦で記載してはいかがか。 ⇒次回増刷する時に検討課題とする。 ・地域活動支援員（地区協議会事務局）に関するご報告（出張所より） 5年間、協議会事務局を担ってきた「地域活動支援員」（非常勤職員）は今年度 の任期満了に伴い退職となります。<u>区では新たに協議会だけではなくコミュニ ティ活動全般の支援をする職務として「コミュニティ推進員」を募集しました。</u> 現職の支援員の受験可能であり、公正な試験の結果、現支援員がコミュニティ 推進員という新たな職務につくことになりました。 「コミュニティ推進員」の仕事内容は従来の協議会の支援以外にも他の団体の 活動支援も範囲となります。協議会活動は区内10所の地域格差があり、限られ た職務時間(週30時間)内では四谷のように活動が活発な地域は、今までのよう な協議会活動支援の形が成立しない場合が出てきます。 そこで協議会委員各位がご尽力いただけると、推進員が他の活動を支援でき る機会が増えます。結果的には今まで以上に四谷の各団体の活動が活発化し、 協議会が推進する地域連携が円滑になります。何卒ご理解ご協力を願います。 ・新宿区成立65周年記念（3月15日（木）） ご参加をお忘れなくお願いします。
<p>次回日程</p>	<p>4月 24 日 (火) 14:00 ~ 四谷特別出張所会議室</p>